

2021年7月13日

## ジャガー・レーシング、フォーミュラ E 世界選手権シーズン 7 第 10 戦、第 11 戦 ニューヨーク・グランプリ 第 11 戦でサム・バードがポール・トゥ・ウィンでニューヨーク 3 度目の優勝を飾る ドライバーズ・ランキングでは首位に浮上



- ニューヨークで開催された ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 7 の第 10 戦、第 11 戦に出場
- 第 10 戦、サム・バードはファステストラップを叩き出し、9 位でフィニッシュしポイント獲得。ミッチ・エバンズは 16 番グリッドのスタートから順位を 7 つ追いつけるも電気システムのトラブルによりリタイア
- 第 11 戦、サム・バードはニューヨーク・グランプリで自身 3 度目の優勝を果たす。ミッチ・エバンズは 13 位でフィニッシュ
- ドライバーズ・ランキングでサム・バードが首位に浮上し、ミッチ・エバンズは 8 位。チーム・ランキングでは、ジャガー・レーシングが 3 位
- ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権の最終戦となるダブルヘッダーレース、第 12 戦、第 13 戦は、2021 年 7 月 24 日、25 日(現地時間)に、ジャガー・レーシングのホームグラウンドであるロンドンで開幕

2021 年 7 月 10-11 日 アメリカ合衆国 ニューヨーク発: ジャガー・レーシングは、ニューヨークで行われた ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 シーズン 7 の第 10 戦、第 11 戦に「I-TYPE 5」で出走し、第 11 戦でサム・バードがニューヨークで 3 度目の優勝を飾るとい歴史的快挙を成し遂げ、また、ドライバーズ・ランキングでも再び首位に浮上しました。

7 月 10 日に開催された第 10 戦は、サム・バードにとって不運な出来事が襲いました。フリープラクティス 1 で壁に衝突してしまい、急遽シャシー変更を余儀なくされますが、ジャガー・レーシングの



OFFICIAL PARTNERS



OFFICIAL SUPPLIERS

メカニックとエンジニアが驚異的なチームワークで、パルクフェルメまであと 6 秒というところで修理を終えました。クオリファイ・セッションになんとか間に合いましたが、今度はオリバー・ローランド(日産 e.dams)とのクラッシュに見舞われ、決勝は 20 番グリッドからのスタートとなります。しかし、ファステストラップを叩き出すなど快調な走りを見せ、9 位まで順位を上げ、ポイント圏内でフィニッシュしました。

16 番グリッドからスタートしたミッチ・エバンスは、巧みなレース運びでオリバー・ターベイ(NIO フォーミュラ E チーム)とセルジオ・セッテ・カマラ(ドラゴン/ペンスキー・オートスポーツ)を抜いて 14 位に順位を追い上げ、さらにそのあともノーマン・ナト(ロキット・ベンチュリ・レーシング)、ジェイク・デニス(BMW i アンドレッティ・モータースポーツ)、アントニオ・フェリックス・ダ・コスタ(DS テチータ)をオーバーテイクしポイント圏内に浮上しましたが、電気システムのトラブルにより、レース残り 27 分でリタイヤとなりました。

翌日の第 11 戦では、サム・バードとミッチ・エバンスの両ドライバーが、チーム史上はじめてスーパーポールに進出し、フロントローを独占するという快挙を成し遂げました。

ポールポジションを獲得したサム・バードは、そのまま首位を維持し、1 位でフィニッシュ、優勝を飾りました。サム・バードにとってニューヨークのサーキットでの優勝は 3 度目で、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権史上、同一サーキットで 3 回優勝した初めての選手となりました。

一方のミッチ・エバンスは、2 番グリッドから出走し、1-2 フィニッシュの可能性がみえていましたが、ニック・キャシディ(エンヴィジョン・ヴァージン・レーシング)との攻防戦の末、レース終盤に壁と衝突してしまいペースを崩し、最終的に 13 位で終わりました。

ドライバーズ・ランキングで、サム・バードは現在首位に浮上し、ミッチ・エバンスは 8 位、チーム・ランキングでは、ジャガー・レーシングは、現在首位のエンヴィジョン・ヴァージン・レーシングに 5 ポイント差の 3 位につけています。

ジャガー・レーシングは 2021 年 7 月 24 日と 25 日にロンドンで開催されるダブルヘッダーの最終戦、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権第シーズン 7 第 12 戦、第 13 戦 ロンドン・グランプリに挑みます。

#### ドライバー、サム・バードのコメント:

「残念ながら第 10 戦ではミスをしてしまいそのダメージはとて大きかったのですが、チームのみんなは信じられないような仕事をしてくれました。レースに出走できたことだけでも驚きなのに、ポイント獲得ができたのは、チームへのささやかなお返しになったと思います。翌日の第 11 戦は素晴らしい一日となりました。これ以上嬉しいことはなく、チームを誇りに思います。昨日の状況から挽回し、このような結果を勝ち取ることは私たちが望んでいた展開であり、とても良い気分です。ジャガー・レーシングのみんな、ありがとう。」



OFFICIAL PARTNERS



OFFICIAL SUPPLIERS

### ドライバー、ミッチ・エバンスのコメント:

「第 10 戦では、かなり順調なスタートを切ることができ、10 位以内に入ることができましたが、電気システムのトラブルでマシンが停止してしまい、再起動することができませんでした。第 11 戦は、まさに待ち望んでいた展開だったのに、台無しにしてしまいました。本当に悔しくて、とても辛いですが、サムには心からおめでとうと言いたいです。」

### ジャガー・レーシング・チームのディレクターであるジェームズ・パークレーのコメント:

「初日の第 10 戦は厳しい結果となりましたが、第 11 戦では一転し、素晴らしい結果を残しました。サムとミッチがフロントローを独占したことは、小さくも新たな歴史を刻んだ瞬間です。2 人は、グループ・クオリファイ・セッションを突破し、スーパーポールに進出しました。決勝では、サムとチームが素晴らしいパフォーマンスを発揮し、完璧な勝利を収めました。ミッチは後続のニック・キャシディ(エンヴィジョン・ヴァージン・レーシング)との差をコントロールしながらポジションを維持していましたが、壁にぶつかった際にリア・サスペンションが壊れてしまい、ゴールまであと一步というところでポイント圏外にまで後退し、苦い思いをしました。サムがドライバーズ・ランキングのトップに返り咲き、この勢いを維持しながら、2 週間後のジャガー・レーシングとして初めてホームグラウンドでのレースに挑むのが待ち遠しいです。」

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2021 年 7 月 10~11 日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

以上

### エディターズ・ノート

#### ジャガー・レーシングについて

ジャガーは 2016 年 10 月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。2019 年、パナソニック・ジャガー・レーシングはローマ・グランプリで初優勝を果たし、これは、ジャガーが国際的なモータースポーツイベントで勝利を飾った 1991 年以来初となります。

ジャガーにとってフォーミュラ E は、電動化の未来を加速させるための現実世界のテストベッドです。

フォーミュラ E の公式マニュファクチャラー・チームとして、ジャガー・レーシングは、モーター、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。

コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 12 チーム共通となっています。これにより、効率的で軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバーの電気自動車のパフォーマンスの向上とラインアップ拡大につながります。

フォーミュラ E の 2020/21 年シーズンは、国際自動車連盟(FIA)主催の世界選手権ステータスとなって迎える初めてのシーズンとなり、各チームにとって、「Generation 2」のレースマシンを使用する 3 度目のシーズンとなります。

各チームは、ドライバー 1 人につき 1 台、計 2 台のレースカーを用意し、全レースを戦います。



OFFICIAL PARTNERS



OFFICIAL SUPPLIERS

フォーミュラEは、電気自動車によるレースというコンセプトに加え、モータースポーツの世界においては開催地の選定もユニークです。選手権は世界的大都市を舞台に、特設の公道サーキットで開催され、今シーズンは、サンティアゴ、ディルレーヤ、ローマ、パリ、モナコ、ニューヨークなどを転戦した後、ロンドンで週末に行われるダブルヘッダーレースで最終戦を迎える予定です。

昨シーズン、ミッチ・エバンスはドライバーズ・ランキング7位、ジャガー・レーシングとしてはメキシコシティで勝利、サンティアゴで表彰台、ポールポジションを1回獲得して、ジャガー・レーシングは総合7位でした。シーズン7では、これまでフォーミュラE世界選手権で毎シーズン勝利を獲得しているイギリス人ドライバー、サム・バードが新たなドライバーとして加入しています。

シーズン7から、主催者のFIAによって、正式に世界選手権のステータスが与えられ、「ABB FIAフォーミュラE世界選手権」として開催されています。

### Race to Innovate

フォーミュラE世界選手権への参戦は引き続き、ジャガー・ランドローバーのグローバル戦略「Reimagine」の実現に向けた最重要事項です。電気自動車による唯一の世界選手権であるフォーミュラE世界選手権を通して、ジャガーはハイパフォーマンスが求められる環境で新たな電気自動車テクノロジーをテストし、開発しています。レースは、「Race to Innovate(イノベーションのためのレーシング)」をブランドミッションに掲げるジャガーにとって、技術検証を行う最高のプラットフォームであり続け、電動化の未来を形作るために、レースで得た知識や経験を市販車へ、そして市販

車からレースへと相互に役立てることができます。それこそがジャガーが情熱を傾けて目指している未来であり、社会貢献、モビリティの変容、持続可能性、そしてお客様のためにその実現に懸命に取り組んでいます。

### Jaguar PR social channels:

- Jaguar ウェブサイト: <http://www.jaguar.co.jp>
- Facebook: <https://www.facebook.com/JaguarJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/JaguarJPN>, @JaguarJPN
- Instagram: <http://www.instagram.com/jaguarjapan>
- YouTube: <https://www.youtube.com/jaguarchanneljp>

### ◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689  
(9:00~18:00、土日祝日を除く)



OFFICIAL PARTNERS



OFFICIAL SUPPLIERS